

令和3年度

**北区「特色ある区づくり予算事業(案)」の提案について
(事業別)**

(令和2年12月24日 資料)

令和3年度 北区「特色ある区づくり予算事業計画書」目次（令和2年12月24日現在）

番号	事業名	担当課	新規 継続	R1決算額	R2予算額	R3予定額	掲載 ページ
■豊かな自然と共生するまち							
1	『松浜海岸の自然環境保全と地域の魅力づくり』事業	建設課	新規	-	-	230万円	1・2
2	北区水辺環境フィーチャリング事業	区民生活課	継続	-	200万円	200万円	3・4
3	海辺の森共創参画推進事業	産業振興課	継続	314万円	390万円	390万円	5・6
■活力ある産業のまち							
4	「次世代農業」普及事業	産業振興課	新規	-	-	150万円	7・8
5	地域商業にぎわい創出プロジェクト	産業振興課	継続	-	160万円	260万円	9・10
6	魅力発信キタクなるプロジェクト	産業振興課	継続	298万円	300万円	300万円	11・12
■学びあい、健康で、人にやさしいまち							
7	北区エンジョイスports事業	産業振興課	新規	-	-	150万円	13・14
8	木崎村小作争議100周年事業	地域総務課	継続	-	30万円	150万円	15・16
9	北区子育て応援事業	健康福祉課	継続	-	240万円	350万円	17・18
10	北区もの忘れ検診	健康福祉課	継続	-	80万円	80万円	19・20
11	大学生による家庭介護セミナー	健康福祉課	継続	-	30万円	30万円	21・22
12	地域「ひと・まち」パートナーシップ支援事業	地域総務課	継続	97万円	160万円	160万円	23・24
■安心安全で暮らしやすいまち							
13	地域防犯力向上事業	区民生活課	新規	-	-	50万円	25・26
14	地域防災ひとつくり	地域総務課	継続	74万円	60万円	120万円	27・28
区企画事業 計						2,620万円	
1	めざせ防災力向上！	地域づくり部会		-	-	90万円	29
2	「あったか言葉」っていいね	福祉教育部会		-	-	90万円	30
3	北区 自然の魅力発信事業	自然文化部会		-	-	100万円	31
自治協議会提案事業 計						280万円	
令和3年度 特色ある区づくり予算事業 合計						2,900万円	

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	『松浜海岸の自然環境保全と地域の魅力づくり』事業
事業の取組み	<input checked="" type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	令和 3年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月31日
担当所属	北区建設課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<p>松浜海岸は非常に広大な砂浜であり、日本海特有の冬場の季節風により、海岸と住宅地(松浜みなと地区や松浜8丁目地区)が近接している状況から、他区には無いような飛砂による被害が毎年のように発生し、長い間地域住民は被害に悩まされている。松浜海岸には市民文化遺産として認定されたひょうたん池があり、豊かな自然環境をもち、夏から秋にかけては多くのトンボが飛び交い、トンボの楽園となっている。中でも絶滅危惧種Ⅰ類(レッドゾーン最上位)でもある貴重なオオモノサシントンボが生息する場所でもあるが、飛砂被害によりひょうたん池が狭くなり、今後は消滅してしまう恐れもある。</p> <p>このようなことから、松浜海岸の飛砂被害を軽減して、暮らしやすい環境づくりへの取組みを進め、更にひょうたん池を守り、松浜地区の魅力づくりを続けていく必要がある。</p> <p>飛砂対策を、市民と協働で行い、地元住民が地域に携る機会を増やす事で、魅力の発信、地域への愛着や誇りが生まれる環境づくりができる。</p>
目的 (何のために)	<p>飛砂被害を軽減して、松浜地区の暮らしやすい環境づくりを行う。また飛砂被害により埋没して消滅する恐れのある市民文化遺産である、ひょうたん池を守る。官民協働で飛砂対策を行うことで、地域の環境保全につなげ、地元の方の誇りである自然環境を守り、地域の活性化や地域のやすらぎある自然環境を今後も継続していく。</p>
手段 (どのようなやり方で)	<p>松浜海岸の砂浜にアキグミの苗木等の植栽を地元住民と松浜小学校、国土交通省、新潟市との官民協働で行い、砂浜を緑化する事によりメンテナンスフリーな飛砂対策を行う事ができる。</p> <p>区提案独自事業で松浜地区飛砂対策緑化事業を先行しておこなう。その後、区づくり事業としてアキグミの苗木を植栽することで、より効果的に飛砂対策を行う事ができる。</p>
期待される事業効果 (目的に対して)	<p>アキグミ苗木の植栽を官民協働を進めて、砂浜を緑化する事により、松浜地区の飛砂被害の軽減につながる。また、地域の問題を地元の方、地元小学生の多くの方々と取り組んで解決していくことで、ひょうたん池の保全による魅力づくり、地域の活性化、地域への愛着・地域に誇りをもてる環境づくりができる。</p>

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	R3年度(1年目)	R4年度(2年目)	R5年度(3年目)
事業費	2,300,000円(予定額)	2,300,000円(予定額)	2,300,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	・松浜海岸の飛砂防止対策として官民協働によるアキグミ苗木の植栽を行う。	同左	同左
3カ年の 予定総事業費	6,900千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	地域住民による持続可能な事業の実施		

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	北区水辺環境フィーチャリング事業
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	令和2年4月1日 ~ 令和5年3月31日
担当所属	北区区民生活課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<p>北区の阿賀野川右岸には、海流や風などによって運ばれてきた土砂が河口を閉じ込めてできたひょうたん池、かつて蛇行する阿賀野川の一部だった十二瀉があり、河川や海流によってもたらされた古来からの大きな自然の動きを、その水辺の存在自体から感じることができる。</p> <p>水辺が形成された歴史や、様々な動植物が生息している水辺の魅力が、区内外に十分に発信されていない現状である。外来植物や雑草が希少植物の生態を脅かしている。</p>
目的 (何のために)	水辺の環境を保全する活動を区民と協働で実施し、さらに瀉や池が環境教育や自然体験の場、自主的な地域づくりの場、ふれあいと憩いの場となるよう、水辺環境づくりを推進する。
手段 (どのようなやり方で)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 希少植物の保護と異常発生植物等の駆除 (ひょうたん池のヨシの駆除・十二瀉のヒシの駆除) ○ 自然観察体験会 ○ 清掃美化活動
期待される事業効果 (目的に対して)	<p>水辺環境及び希少動植物の保全が図られる。</p> <p>観察会、体験会を通して、水辺の自然や歴史と、その魅力を区内外に発信するとともに後世に繋いでいける。</p> <p>環境保全活動が将来にわたって長く継続されることが期待できる。</p>

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和2年度(1年目)	令和3年度(2年目)	令和4年度(3年目)
事業費	2,000,000円(予算額)	2,000,000円(予定額)	2,000,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	1 異常発生植物等の駆除 ・ひょうたん池のヨシの駆除 ・十二湍のヒシ, ヨシの駆除 2 観察会・勉強会の実施 ・観察場所の環境づくり 3 環境保全活動 ・清掃活動	同左	同左
3カ年の 予定総事業費	6,000千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	事業終了後は地区コミュニティ協議会や地元団体等が継続して実施		

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	海辺の森共創参画推進事業		
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み	<input type="checkbox"/> 区伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み	
区ビジョン	<input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち	<input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち	<input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	平成31年4月1日 ~ 令和4年3月31日		
担当所属	北区産業振興課		
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度から、北区海岸林保全計画に基づき、国県補助金を活用し植栽工事を実施した。それにより、守るべき(保全する)森が増加したため、地元住民による自主的な保全活動が急務となる。 ・地元では保全活動資金の充実のためコミュニティビジネス(以下「CB」という)を成立させ、費用の捻出を試みている。 ・地元の人手不足を補うため、北区で開発した草刈ロボットを活用する。 ・保健保安林である海辺の森の活用による交流人口の拡大が地元や指定管理者、市の共通課題となっている。 		
目的 (何のために)	自然豊かな海辺の森を後世に引き継ぐため、地元の自発的な保全活動に対する様々な活動を支援する。		
手段 (どのようなやり方で)	<ul style="list-style-type: none"> ・海辺の森の保全活動を地元の住民やボランティア団体、大学などと連携した保全活動にするため任意団体に支援をし、持続可能な体制を構築するためのアイデアや手法を、任意団体と地元住民共に協働で検討していく。 ・保全活動の資金不足解消のため、地元のCB活動を支援する。 ・草刈ロボットを活用していく。 ・有識者(アドバイザー)を招いて、地元や指定管理者、市による勉強会を開催する。(ソフト事業の検証及びSNS等の利用推進) ・緑の環境プラン大賞(第一生命財団)を受賞した指定管理者提案の森づくりを軸とする、新たな地域・学校・官の連携事業を支援する。 		
期待される事業効果 (目的に対して)	地域主体の取り組みが増えることによって、地域の活性化に寄与する		

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和元年度(1年目)	令和2年度(2年目)	年度(3年目)
事業費	3,135,062円(決算額)	3,900,000円(予算額)	3,900,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	1. 海辺の森協議会への活動支援 (800,000円) (1) 保全活動 (2) 植栽活動 (3) 森林保護PR活動 2. 幼木植栽地等の保全活動(524,242円) (1) 海辺の森全体ニセアカシアの枯殺 (2) 草刈ロボット活用 3. コミュニティビジネスへの活動支援 (611,420円) (1) 側面支援(補助金) (2) 先進地視察 4. 海辺の森交流人口拡大活動(勉強会) (1,199,400円) (1) キャンプ場ソフト事業の検討	1. 海辺の森協議会への活動支援 (800,000円) (1) 保全活動 (2) 植栽活動 (3) 森林保護PR活動 (4) 組織編成検討 2. 幼木植栽地等の保全活動(350,000円) (1) 海辺の森全体ニセアカシアの枯殺 (2) 草刈ロボット活用 3. コミュニティビジネスへの活動支援 (622,000円) (1) 側面支援(補助金) (2) 先進地視察 4. 海辺の森交流人口拡大活動(勉強会) (2,128,000円) (1) キャンプ場ソフト事業の試行 (2) 学生との連携検討	1. 海辺の森協議会への活動支援 (800,000円) (1) 保全活動 (2) 植栽活動 (3) 森林保護PR活動 (4) 組織編成部会 2. 幼木植栽地等の保全活動(400,000円) (1) 海辺の森全体ニセアカシアの枯殺 (2) 草刈ロボット活用 3. コミュニティビジネスへの活動支援 (602,000円) (1) 側面支援(補助金) (2) 先進地視察 (3) 意見交換によるCB事業拡大検討 (4) 意見交換出席者謝礼 4. 海辺の森交流人口拡大活動(勉強会) (2,098,000円) (1) キャンプ場ソフト事業の拡大検討 (2) 学生との連携検討
3か年の 予定総事業費	10,935千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	海辺の森協議会(地元住民を主体に組織される団体)によって、自主的に海辺の森の保全作業を行うとともに、地域住民が周辺資源の利活用によるコミュニティビジネスを展開し、海辺の森を核とした交流人口の拡大による地域活性化が進んでいく。		

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	「次世代農業」普及事業
事業の取組み	<input checked="" type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input checked="" type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	令和3年4月1日 ～ 令和6年3月31日
担当所属	北区産業振興課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<p>【現状】 農業全般で農家戸数、栽培面積、生産量などが減少傾向である中、平成30年から令和2年度において、特色ある区づくり事業(「次世代農業」推進事業)にて北区の農産物ブランド化やICT技術導入検討を行った。 現状、「しるきーも」のブランド浸透やトマト生産現場へのICT技術導入に向けた方策を示すことなどの成果が見られたが、トマトでは依然衰退傾向が進んでいるとともに、「しるきーも」にあってもこれまで拡大傾向であった栽培面積が頭打ちの状況下にある。</p> <p>【課題】 「しるきーも」にあっては、ブランドの浸透によって引き合いはあるものの、それに対応できる栽培面積・生産量が確保できていない。 県内最大の生産量を誇る「トマト」にあっては、農家戸数の減少に歯止めがかからない中、作業の省力化・効率化によって生産量や品質向上につながるICT技術の導入が一部地域・農家に留まっている。</p> <p>【ニーズ】 「しるきーも」生産者からは、ブランド化に向けたPRよりも生産・出荷に向けた支援要望が強い。 「トマト」では、令和元年度に実施したアンケート調査から約54%の農家で「導入に積極的」「興味がある」意向を示している。</p>
目的 (何のために)	北区ブランドさつまいもである「しるきーも」の生産・販売支援を行うことによって、生産面積の拡大などによって農家の所得向上を図る。県内最大産地である「トマト」の生産現場にICT等の新技術を導入することで、農作業の省力化や、生産技術の平準化を進める。これにより、生産規模の拡大や品質の安定化・向上が図られ、農業所得の増大、担い手の確保へとつなげることができる。
手段 (どのようなやり方で)	<p>「しるきーも」: PR用ツールであるFG袋の作成支援 「トマト」 : ICT技術のモデル実施。(実証圃の設置・支援) 導入による各種データを取得・分析・公表し産地への技術普及を図る。 また、展示圃として産地の農家から見てもらい、技術普及を後押しし、産地のボトムアップを図る。</p>
期待される事業効果 (目的に対して)	<p>「しるきーも」: 生産規模の拡大。 「トマト」 : 生産量拡大や品質の向上・安定化による農家所得の増大、作業の省力化による担い手の確保</p>

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和3年度(1年目)	令和4年度(2年目)	令和5年度(3年目)
事業費	1,500,000円(予定額)	1,500,000円(予定額)	1,500,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	1. 農産物のブランド力強化 (1) 販売促進ツールの作成 (2) 販売・PRイベントへの参加 (3) その他広報活動 2. 新技術の導入検討 (1) 委託費 (2) 会議費 (3) その他雑費	1. 農産物のブランド力強化 (1) 販売促進ツールの作成 (2) 販売・PRイベントへの参加 (3) その他広報活動 2. 新技術の導入検討 (1) 委託費 (2) 会議費 (3) その他雑費	1. 農産物のブランド力強化 (1) 販売促進ツールの作成 (2) 販売・PRイベントへの参加 (3) その他広報活動 2. 新技術の導入検討 (1) 委託費 (2) 会議費 (3) その他雑費
3カ年の 予定総事業費	4,500 千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	取組効果を検証しながら、生産者団体・JAへの移管も含めて検討。		

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	地域商業にぎわい創出プロジェクト
事業の取組み	<input checked="" type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input checked="" type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	令和2年4月1日 ~ 令和5年3月31日
担当所属	北区産業振興課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度から区づくり事業として、3年間にわたり北区における人口減少や少子高齢化に伴う商業の衰退、街の活力低下を食い止め、北区の地域商業の活性化と街のにぎわい創出を目的として、地域商業活性化事業を実施してきた。各地域の活性化のテーマを用いて、地域全体のイメージアップを図り、継続した賑わいへと繋がるよう取り組みを行ってきた。しかし、地域ブランドの定着及び継続した賑わいには至っていない。 ・コロナウイルス感染症の影響により、地域の賑わいづくり事業がストップしている状況に鑑み、柔軟に地域で事業を行えるように環境づくりを行う。
目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・北区における人口減少や少子高齢化に伴う、商業の衰退、街の活力低下を食い止め、北区の地域商業の活性化と街のにぎわいを創出する。また、地域に若者が定着するような魅力ある地域を創造する。 ・これまでの地域商業活性化事業で実施してきた活動をもとに、将来へと持続的に展開していく。
手段 (どのようなやり方で)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域商業活性化のテーマをもとに地域の商店街や商店の新規顧客の獲得に繋がる取り組みを実施する。テーマに沿ったコンテンツ開発やPR展開を行い、エリア全体でのイメージアップを図り、地域への愛着形成及び継続した賑わいを創出する。
期待される事業効果 (目的に対して)	<p>各個店の新規顧客の獲得とエリア全体の魅力アップによる来街者増加につながる。地域の子ども、若者から地域に愛着を持ってもらい、地域への定着が期待できる。エリアとしての共通イメージが構築されることで、一体感を持って様々な活動が展開され、波及効果が生まれる。</p>

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和2年度(1年目)	令和3年度(2年目)	令和4年度(3年目)
事業費	1,600,000円(予算額)	2,600,000円(予定額)	1,600,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<p>地域商業活性化のテーマに沿って新規顧客獲得と地域への愛着形成、来街者増加を目的としたコンテンツ開発やPR展開に取り組む。</p> <p>(1)地域商業にぎわい創出事業(豊栄地域) 負担金 <内訳> ・活動費 一式</p> <p>(2)地域商業にぎわい創出事業(北新潟地域) 負担金 <内訳> ・活動費 一式</p>	<p>地域商業活性化のテーマに沿って新規顧客獲得と地域への愛着形成、来街者増加を目的としたコンテンツ開発やPR展開に取り組む。</p> <p>アフターコロナの状況を踏まえ、変化に即した活性化事業を推進する。</p> <p>(1)地域商業にぎわい創出事業(豊栄地域) 負担金 <内訳> ・活動費 一式</p> <p>(2)地域商業にぎわい創出事業(北新潟地域) 負担金 <内訳> ・活動費 一式</p> <p>(3)地域商業にぎわい創出事業(アフターコロナチャレンジ事業) 負担金 <内訳> ・活動費一式</p>	<p>地域商業活性化のテーマに沿って新規顧客獲得と地域への愛着形成、来街者増加を目的としたコンテンツ開発やPR展開に取り組む。</p> <p>(1)地域商業にぎわい創出事業(豊栄地域) 負担金 <内訳> ・活動費 一式</p> <p>(2)地域商業にぎわい創出事業(北新潟地域) 負担金 <内訳> ・活動費 一式</p>
3カ年の 予定総事業費	5,800千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	さらなる自立的な活動への波及と事業継続のため、官民で協力してイメージの定着を支援していく。		

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	魅力発信キタクなるプロジェクト
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input checked="" type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	平成31年4月1日 ~ 令和4年3月31日
担当所属	北区産業振興課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	平成23年から市場や割烹など区内の観光資源を巡るバスツアーを実施し、多くの客に足を運んでもらえた。しかし市内客が大半を占めたため、今後はより北区の観光資源の整備と魅力発信を充実させ、市外・県外客の増加を図る取り組みが望まれる。
目的 (何のために)	交流人口拡大のため、市外・県外在住者に向けた広報を実施するほか、観光資源を整備して魅力を向上させ、新規顧客の開拓とリピーターの増加を狙う。
手段 (どのようなやり方で)	<ul style="list-style-type: none"> ・区内観光関係団体や商業団体を通して、より効果的な観光振興事業実施のための意見集約を行う。 ・区内の観光資源を、ガイドブックなどのPR資料の作成や活用促進事業等を通して旅行者(市外, 県外, 外国人客)が訪れやすいようにする。 ・区内の観光地, イベントへの交通手段を提供し, 旅行者が訪れやすいようにする。 ・観光モニターを募集し, モニターがまとめた区内の観光スポットやグルメの情報をSNS等を通じて発信する。
期待される事業効果 (目的に対して)	観光資源の魅力をわかりやすく提供, また交通手段を整備することで, 旅行先に選んでもらいやすくなり, 観光客の増加が期待できる。区内の観光情報を市外・県外へも提供できるようにすることで, 新規顧客の開拓ができ, 交流人口の増加が期待できる。

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和元年度(1年目)	令和2年度(2年目)	令和3年度(3年目)
事業費	2,972,955円(決算額)	3,000,000円(予算額)	3,000,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<p>(1)新潟市北区観光誘客推進協議会 負担金 1,130,000円</p> <p>1 バストツアー支援(250,000円) ・広報費、ガイド費の補助</p> <p>2 観光資源利用促進事業(200,000円) ・市場共通商品券発行支援</p> <p>3 観光宣伝資料製作事業(600,000円)</p> <p>4 桜の名所づくり事業支援(40,000円) ・観桜イベント支援</p> <p>5 事務局委託料(40,000円)</p> <p>(2)北区観光PR事業 372,955円</p> <p>・消耗品購入, PR物品製作 需用費(152,955円)</p> <p>・広告掲載 役務費(220,000円)</p> <p>(3)北区観光シャトルバス事業 委託料 950,000円</p> <p>(4)北区観光モニター事業 委託料 520,000円</p> <p>・事務管理費(50,000円) ・モニター活動費(260,000円) ・レンタサイクル事業(110,000円) ・諸経費(100,000円)</p>	<p>(1)新潟市北区観光誘客推進協議会 負担金 1,130,000円</p> <p>1 バストツアー支援(250,000円) ・広報費、ガイド費の補助</p> <p>2 観光資源利用促進事業(200,000円) ・市場共通商品券発行支援</p> <p>3 観光宣伝資料製作事業(600,000円)</p> <p>4 桜の名所づくり事業支援(40,000円) ・観桜イベント支援</p> <p>5 事務局委託料(40,000円)</p> <p>(2)北区観光PR事業 需用費 480,000円</p> <p>・消耗品購入, PR物品製作 需用費(180,000円)</p> <p>・広告掲載 役務費(300,000円)</p> <p>(3)北区観光シャトルバス事業 委託料 950,000円</p> <p>(4)北区観光モニター事業 委託料 440,000円</p> <p>・事務管理費(50,000円) ・モニター活動費(250,000円) ・レンタサイクル事業(110,000円) ・諸経費(30,000円)</p>	<p>(1)新潟市北区観光誘客推進協議会 負担金 1,130,000円</p> <p>1 バストツアー支援(250,000円) ・広報費、ガイド費の補助</p> <p>2 観光資源利用促進事業(200,000円) ・市場共通商品券発行支援</p> <p>3 観光宣伝資料製作事業(600,000円)</p> <p>4 桜の名所づくり事業支援(40,000円) ・観桜イベント支援</p> <p>5 事務局委託料(40,000円)</p> <p>(2)北区観光PR事業 需用費 480,000円</p> <p>・消耗品購入, PR物品製作 需用費(180,000円)</p> <p>・広告掲載 役務費(300,000円)</p> <p>(3)北区観光シャトルバス事業 委託料 950,000円</p> <p>(4)北区観光モニター事業 委託料 440,000円</p> <p>・事務管理費(50,000円) ・モニター活動費(250,000円) ・レンタサイクル事業(110,000円) ・諸経費(30,000円)</p>
3カ年の 予定総事業費	8,973千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	区づくり事業の成果をもとにして引き続き官民一体となって観光振興に取り組む。		

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	北区エンジョイスports事業		
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み	<input type="checkbox"/> 区伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み	
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち	<input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち	<input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	令和3年4月1日 ~ 令和6年3月31日		
担当所属	北区産業振興課		
現状・課題・ニーズ	<p>ウィズコロナの状況下で外出自粛や在宅勤務等による運動不足やスポーツへの関心低下が問題となっている。新しい生活様式に配慮したスポーツイベントを開催し、安心して気軽にスポーツを楽しみ健康の増進を図ることのできる機会を提供する。</p>		
目的	<p>ウィズコロナの状況下でも安心して気軽に運動を楽しむことができ、恒常的により多くの人がスポーツを愛好できる機運を醸成するとともに、区民の積極的な参加を促し健康増進につなげていく。</p>		
手段	<p>北区スポーツ協会を中心に区内スポーツ団体等と連携し、ウィズコロナの状況下でも区民が安心して気軽に参加できるスポーツ大会、体験会を区内スポーツ施設等で開催するほか、新たに、自宅などの身近な場所のできる運動の普及を図る。</p> <p>また、冬の風物詩でもあり自然に親しみながら歩く、北区元旦歩こう会を新型コロナウイルスの感染拡大予防に注意し、実行委員会形式で開催する。</p>		
期待される事業効果	<p>ウィズコロナの状況下でも年齢を問わず多くの区民が、安心してスポーツに親しむ機会を得て、スポーツを愛好し健康増進につなげることで、スポーツを通じて活力ある健康で明るい北区づくりに貢献できる。</p>		

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和3年度(1年目)	令和4年度(2年目)	令和5年度(3年目)
事業費	1,500,000円(予算額)	1,500,000円(予算額)	1,500,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<p>◆北区エンジョイスポーツ事業</p> <p>○新潟市北区スポーツ協会に業務委託</p> <p>○開催時期 令和3年10月 ～令和4年1月末</p> <p>○参加者数予想 1,000人</p> <p>○開催内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベント (10月～11月を予定, 豊栄総合体育館) ・各競技大会(北区内各所) ・スポーツ体験イベント (スポーツイベントと同日開催: 豊栄総合体育館, 豊栄南運動公園, 別日開催:北地区スポーツセンター) ・身近な場所できる運動普及 <p>○委託料</p> <p>【運営費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベント等 <p>【賞品代】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加賞等 <p>【需用費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター・チラシ代等 <p>【事務費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務経費 <p>◆北区元旦歩こう会</p> <p>○新潟市北区元旦歩こう会実行委員会主催</p> <p>○参加者数予想 400人</p> <p>○補助金(実行委員会への補助金)</p>	<p>◆北区エンジョイスポーツ事業</p> <p>○新潟市北区スポーツ協会に業務委託</p> <p>○開催時期 令和4年10月 ～令和5年1月末</p> <p>○参加者数予想 1,500人</p> <p>○開催内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベント (10月～11月を予定, 豊栄総合体育館) ・各競技大会(北区内各所) ・スポーツ体験イベント (スポーツイベントと同日開催: 豊栄総合体育館, 豊栄南運動公園, 別日開催:北地区スポーツセンター) ・身近な場所できる運動普及 <p>○委託料</p> <p>【運営費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベント等 <p>【賞品代】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加賞等 <p>【需用費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター・チラシ代等 <p>【事務費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務経費 <p>◆北区元旦歩こう会</p> <p>○新潟市北区元旦歩こう会実行委員会主催</p> <p>○参加者数予想 500人</p> <p>○補助金(実行委員会への補助金)</p>	<p>◆北区エンジョイスポーツ事業</p> <p>○新潟市北区スポーツ協会に業務委託</p> <p>○開催時期 令和5年10月 ～令和6年1月末</p> <p>○参加者数予想 2,000人</p> <p>○開催内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベント (10月～11月を予定, 豊栄総合体育館) ・各競技大会(北区内各所) ・スポーツ体験イベント (スポーツイベントと同日開催: 豊栄総合体育館, 豊栄南運動公園, 別日開催:北地区スポーツセンター) ・身近な場所できる運動普及 <p>○委託料</p> <p>【運営費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベント等 <p>【賞品代】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加賞等 <p>【需用費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター・チラシ代等 <p>【事務費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務経費 <p>◆北区元旦歩こう会</p> <p>○新潟市北区元旦歩こう会実行委員会主催</p> <p>○参加者数予想 600人</p> <p>○補助金(実行委員会への補助金)</p>
3カ年の 予定総事業費	4,500千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	参加者の意見・要望を踏まえ、関係団体や実行委員会で実施について検討する。		

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	木崎村小作争議100周年事業
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	令和2年4月1日 ~ 令和5年3月31日
担当所属	北区地域総務課 北区郷土博物館
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	木崎村小作争議は、北区の歴史の中でも特徴的な出来事である。農民が自らの生活の改善を目指した運動で、大正から昭和初期の社会運動として全国的にも知られている。しかし、徐々にその記憶も薄れてきており、歴史資料の劣化も進んでいる。当館協議会でも、北区の特徴的な出来事を積極的に発信すべきとの提案もいただいている。しかし、これまでの刊行物、当館企画展では、いわゆる小作側からの視点で捉えられていたため、地主個人の人物像や地域における業績などが対立構造の中に埋もれ、紹介されることがほとんどなかった状況がある。
目的 (何のために)	令和4(2022)年度が木崎村小作争議100周年に当たるので、今一度、農民運動・社会運動として全国的に有名な出来事が、北区において起こったことを再認識してもらい、その証である事物(農民学校の看板など)の風化を止める。また、次世代に整理したものを引き継ぐ。
手段 (どのようなやり方で)	100周年にあたる令和4(2022)年度5月～7月の間に、100周年企画展示事業を行う。その期間中に、小作側と地主側の双方の視点から争議を研究する研究者の講演、木崎村小作争議にゆかりのある場所をめぐるツアーを実施する。また、企画展に合わせパンフレットを作成し、小作側・地主側の双方の視点からの資料紹介や小論文を掲載する。令和2(2020)年度及び令和3(2021)年度には、企画展示に使う歴史資料で、傷みが進んで展示に耐えないものがあるので、専門家から意見をもらい修復する。企画展示事業が終了後、講演の内容や歴史資料の修復課程などの記録集を作成する。また、当館所蔵資料のほかにも関係資料の有無を調査し、展示に必要なものは事前にパネル化する。
期待される事業効果 (目的に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・劣化の激しい木製の資料(農民学校西入口看板・市指定文化財)の修復を行うことで全国的にも有名な小作争議に係わる歴史資料を次世代に引き継げる。今後の展示公開等でも活用できる。 ・当館が所蔵する小作側と地主側のそれぞれの立場の資料などを整理して、視野を広くして、客観的にパンフレット掲載することで小作争議の研究実績となり、地域のみならず全国に情報発信できるとともに今後の研究の進展に繋げることができる。 ・企画展終了後に展示会の報告、講演会の報告、修復の報告等をまとめた記録集を作製することで整理された記録が残る。

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和2年度(1年目)	令和3年度(2年目)	令和4年度(3年目)
事業費	300,000円(予算額)	1,500,000円(予定額)	500,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<p>「木崎村小作争議100周年事業」資料の調査・研究・目録作り 木崎村小作争議関連の市指定文化財の修理修繕のための調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究 <ul style="list-style-type: none"> 資料整理・目録作成補助 50千円 資料撮影費 50千円 調査旅費 60千円 ・資料修復準備 <ul style="list-style-type: none"> 修復準備打合旅費 20千円 調査招聘旅費 10千円 調査謝礼 30千円 作品輸送費 80千円 	<p>木崎村小作争議関連の市指定文化財の修理修繕 100周年企画展のパネル製作委託 研究者に寄稿文の依頼 広報印刷物、パンフレット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修復委託先打合せ等旅費 60千円 ・資料修復費 <ul style="list-style-type: none"> 修復修繕費 700千円 輸送費 110千円 ・展示用パネル・展示台等製作費 80千円 ・印刷物 <ul style="list-style-type: none"> ポスター・チラシ作成費 110千円 パンフレット作成費 290千円 原稿執筆謝礼 100千円 撮影費 50千円 	<p>5月～7月の間の1か月程度に渡る「木崎村小作争議100周年企画展」(市指定文化財、説明パネルの展示) 同期間中に小作側と地主側の双方の立ち場から見た講演会 企画展と講演会記録集作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示用消耗品類 100千円 ・講演会謝礼(旅費込) 200千円 ・バスツアー講師謝礼 10千円 ・記録集印刷費 160千円 ・印刷物郵送料 30千円
3か年の 予定総事業費	2,300千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	<p>事業の成果である修復した指定文化財を、北区郷土博物館の常設展示に利用でき、また、他の博物館などにも活用してもらえる。</p> <p>企画展に合わせて作成するパンフレットに調査結果、当館所蔵の資料説明などを掲載することで、地域のみならず全国に情報発信できる。また、今後の研究に活用してもらいことができる。</p> <p>企画展終了後、その企画展のまとめ、講演会の報告、修復の報告等をまとめた記録集を作成することで整理した記録が残り、調査や研究に繋げることができる。</p>		

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和2年度(1年目)	令和3年度(2年目)	令和4年度(3年目)
事業費	2,400,000円(予算額)	3,500,000円(予定額)	3,500,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援関連講座の開催 ・NP講座 ・支援者向けスキルアップ講座 等 ○子育て情報誌ままKiTa発行 ○北区ふゆっこまつりの開催 (実行委員会への負担金支出) ○「地域で子育てを支え合う」体制の モデル事業として早通健康福祉会館 子育て応援カフェ「ぴよぴよ」の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援関連講座の開催 ・NP講座 ・支援者向けスキルアップ講座 等 ○北区ふゆっこまつりの開催 (実行委員会への負担金支出) ○「地域で子育てを支え合う」体制の モデル事業として早通健康福祉会館 子育て応援カフェ「ぴよぴよ」の開催 ○育児情報と行政情報等をLINE配信 	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援関連講座の開催 ・NP講座 ・支援者向けスキルアップ講座 等 ○北区ふゆっこまつりの開催 (実行委員会への負担金支出) ○「地域で子育てを支え合う」体制の モデル事業として早通健康福祉会館 子育て応援カフェ「ぴよぴよ」の開催 ○育児情報と行政情報等をLINE配信
3か年の 予定総事業費	9,400 千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	事業所等の自主事業として実施できる事業を整理しつつ、事業自体は継続実施する。		

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	北区もの忘れ検診		
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み	<input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み	
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち	<input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち	<input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	令和 2年 4月 1日 ~ 令和 5年 3月31日		
担当所属	北区健康福祉課		
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	2025年には認知症の人の数は約700万人、65歳以上高齢者が5人に1人が認知症と見込まれている。かかりつけ医や地域包括支援センター等と連携し、認知症を早期に発見し、早期に対応することで、認知症の進行を遅らせ、地域で安心して暮らせるようにする。		
目的 (何のために)	認知機能の低下している高齢者を早期に発見し、適切な治療・支援サービスにつなげる。		
手段 (どのようなやり方で)	65歳以上の希望者に対しもの忘れ検診を実施する。北区医師会の協力を得て国民健康保険の特定健診、後期高齢者健診受診時に医療機関にて実施する。 認知機能低下が疑われる方に対し、適切な治療・支援サービスにつなげる。		
期待される事業効果 (目的に対して)	認知症を早期発見・早期対応することで、進行を遅らせ本人や家族が混乱の中にも対応力を備えることができる。検診を通じて認知症に関する知識の普及を図り、地域で認知症について考え・理解する機会となる。		

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和2年度(1年目)	令和3年度(2年目)	令和4年度(3年目)
事業費	800,000円(予算額)	800,000円(予算額)	800,000円(予算額)
計画内容 (手段に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・検診の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・データ入力事務賃金 85,000円 ・必要な帳票類の作成 150,000円 ・郵送料 46,000円 ・消耗品費 96,000円 ・検診検討会議 <ul style="list-style-type: none"> ・出席者謝礼他 117,000円 ・出席者お茶代 2,000円 ・啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> チラシ・ポスター作成 154,000円 検診カレンダー 150,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ・検診の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・データ入力事務報酬 85,000円 ・必要な帳票類の作成 150,000円 ・郵送料 46,000円 ・消耗品費 96,000円 ・検診検討会議 <ul style="list-style-type: none"> ・出席者謝礼他 117,000円 ・出席者お茶代 2,000円 ・啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> チラシ・ポスター作成 154,000円 検診カレンダー 150,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ・検診の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・データ入力事務報酬 85,000円 ・必要な帳票類の作成 150,000円 ・郵送料 46,000円 ・消耗品費 96,000円 ・検診検討会議 <ul style="list-style-type: none"> ・出席者謝礼他 117,000円 ・出席者お茶代 2,000円 ・啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> チラシ・ポスター作成 154,000円 検診カレンダー 150,000円
3カ年の 予定総事業費	2,400千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	検診実施で築いた、かかりつけ医や地域包括支援センターなど地域の機関とフォロー体制を可能な限り継続する。 地域での認知症予防活動の充実を図る。		

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	大学生による家庭介護セミナー		
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み	<input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み	
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち	<input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち	<input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	令和2年4月1日 ~ 令和5年3月31日		
担当所属	北区健康福祉課		
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化や核家族化が進む中、平均寿命が延びるにつれて、高齢者同士による介護が増えてきている。 ・両親や配偶者、兄弟など、誰もが当事者としてその介護に関わる可能性がある。 		
目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護に関する知識を学び、家族の介護に備えられるようにする。 		
手段 (どのようなやり方で)	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟医療福祉大学社会福祉学科の学生を講師とした介護に関するセミナーを開催する。 		
期待される 事業効果 (目的に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・区民の介護技術、知識の習得 ・学生の学習成果の実践と地域社会への貢献 ・地域と学生の交流 		

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和2年度(1年目)	令和3年度(2年目)	令和4年度(3年目)
事業費	300千円(予定額)	300千円(予定額)	300千円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<p>家族の介護について学んでいる新潟医療福祉大学 社会福祉学科の学生と連携して、介護技術等に関するセミナーを開催し、家族の介護負担の軽減や、いつか訪れるかもしれない家族の介護に備えられるよう介護の基本的知識やスキルを身につけてもらうとともに、学生と地域とのつながりを深める。</p> <p>【会場】 コミュニティセンターなど</p> <p>【定員】 20名</p> <p>【講師】 医療福祉大の学生及び教員</p> <p>【内容】 ・介護の基本的知識や技術(食事・入浴・移動介助等)などを楽しく学ぶ。また、お茶を飲みながら参加者との交流も行う。 ※新型コロナウイルス禍のため、状況によっては変更の場合あり。</p>	<p>家族の介護について学んでいる新潟医療福祉大学 社会福祉学科の学生と連携して、介護技術等に関するセミナーを開催し、家族の介護負担の軽減や、いつか訪れるかもしれない家族の介護に備えられるよう介護の基本的知識やスキルを身につけてもらうとともに、学生と地域とのつながりを深める。</p> <p>【会場】 コミュニティセンターなど</p> <p>【定員】 20名</p> <p>【講師】 医療福祉大の学生及び教員</p> <p>【内容】 ・介護の基本的知識や技術(食事・入浴・移動介助等)などを楽しく学ぶ。また、お茶を飲みながら参加者との交流も行う。 ※新型コロナウイルス禍のため、状況によっては変更の場合あり。</p>	<p>家族の介護について学んでいる新潟医療福祉大学 社会福祉学科の学生と連携して、介護技術等に関するセミナーを開催し、家族の介護負担の軽減や、いつか訪れるかもしれない家族の介護に備えられるよう介護の基本的知識やスキルを身につけてもらうとともに、学生と地域とのつながりを深める。</p> <p>【会場】 コミュニティセンターなど</p> <p>【定員】 20名</p> <p>【講師】 医療福祉大の学生及び教員</p> <p>【内容】 ・介護の基本的知識や技術(食事・入浴・移動介助等)などを楽しく学ぶ。また、お茶を飲みながら参加者との交流も行う。 ※新型コロナウイルス禍のため、状況によっては変更の場合あり。</p>
3カ年の 予定総事業費	900千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	事業終了後は、北区と新潟医療福祉大学との包括連携協定に基づいて事業継続できる仕組みを整えられるよう、検討していく。		

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	地域「ひと・まち」パートナーシップ支援事業
事業の取組み	<input checked="" type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	平成31年4月1日 ~ 令和4年3月31日
担当所属	北区地域総務課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の「ひと・まち」づくりは、学校や地域へのスタディサポーターの派遣等を通じて、大学生との連携・協働が着実に成果を上げている。 ・大学生との連携・協働は、学校をはじめ公民館や地域コミュニティ協議会、区民等から多様なニーズがあり、そのニーズに対応するためには、新たな連携・協働の仕組みと方法が必要となっている。 ・これまでの活動分野や対象、場所を超え、区の一体感の醸成や地域の「ひと・まち」づくりのニーズに幅広く対応するため、大学生と地域とのパートナーシップによる連携・協働を深化させる必要がある。
目的 (何のために)	<p>区の一体感の醸成の取組や地域の「ひと・まち」づくりを深化させるため、地域において活動する大学生を「ひと・まち」づくりパートナー(タッグパートナー)として地域コミュニティ協議会や学校等(以下「地域コミュニティ等」という。)に派遣する。併せて、大学生が人と人、地域と地域、人と地域を結び付ける役割を担うことで、区の一体感の醸成を図る。</p>
手段 (どのようなやり方で)	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域コミュニティ等へのタッグパートナーの派遣 地域の实情に応じた「ひと・まち」づくりの取組や活動に対してタッグパートナーを派遣する。 2 新潟医療福祉大学と地域コミュニティ関係者、北区関係者及び関係団体等との間においてネットワーク会議を定期的に行い、事業の円滑な運営を図る。 3 地域交流会の開催 事業の成果を広く区民や地域に還元し、区の一体感の醸成の取組や地域の「ひと・まち」づくりの意義と方法を北区全体で共有する。
期待される事業効果 (目的に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生は、「タッグパートナー」として主体的に活動することで、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていく上で必要な力(社会人基礎力)を形成することができる。 ・地域コミュニティ等は、大学生と協働して地域の实情に応じた「ひと・まち」づくりに取り組むことで、地域の課題解決力を高めることができる。 ・公私の社会資源がネットワークを形成して、区の一体感の醸成や地域の「ひと・まち」づくりに向けて取り組むことで、北区の社会的繋がりを高めることができる。

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和元年度(1年目)	令和2年度(2年目)	令和3年度(3年目)
事業費	967,653円(決算額)	1,600,000円(予算額)	1,600,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<p>①新潟医療福祉大学から地域コミュニティ協議会や学校等へひとづくり, まちづくりを連携・協働するタッグパートナーの派遣</p> <p>②新潟医療福祉大学, 地域コミュニティ協議会関係者, 行政及び関係団体等によるネットワーク会議(連絡調整会議)の開催</p> <p>③活動報告を兼ねた報告会(地域交流会)の開催</p> <p>④報告資料作成</p>	同左	同左
3カ年の 予定総事業費	4,168千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	事業終了後は, 北区と新潟医療福祉大学との包括連携協定に基づいて事業継続できる仕組み(大学の地域連携推進事業としての自主財源化等)を整えていく。		

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	地域防犯力向上事業
事業の取組み	<input checked="" type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input checked="" type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日
担当所属	北区区民生活課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<p>・北区では青パト隊、見守り隊、わんパト隊など多くの自主防犯団体が活動しているが、相互交流がない状況。各団体を集めた活動報告会等の開催要望がある。</p> <p>・見守り活動に参加する人材が不足しており、防犯カメラなどの機器の活用を検討する自治会等も多いが、防犯カメラはプライバシー侵害のリスクもあり、設置協議が進まず導入できないでいる自治会がある。</p> <p>・また、依然として不法投棄に悩まされている地域があり、既設看板も劣化し効果が低減していることから修繕する必要がある。</p>
目的 (何のために)	<p>・各防犯団体のより効果的かつ活発な防犯活動を促進し、地域防犯力の向上を図ることにより、犯罪の未然防止、ゴミの不法投棄防止そして良好な地域環境及び治安の保持を推進する。</p>
手段 (どのようなやり方で)	<p>○各自主防犯団体による意見交換会(ワークショップ)の開催(1回)</p> <p>○防犯カメラの効果検証や設置促進のためのダミーカメラの貸出(5台)</p> <p>○既設不法投棄防止看板の修繕(劣化による色褪せ・ダミーカメラの破損等15基)</p> <p>○県警から講師を招き、自主防犯活動での効果的な実施方法などについての研修会を開催(1回)</p>
期待される事業効果 (目的に対して)	<p>各自主防犯団体の活動が効果的かつ活発になるとともに、活動意識の高揚が図られ、犯罪が起きにくい安心安全なまちづくりが推進される。</p>

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和3年度		
事業費	500,000円(予算額)		
計画内容 (手段に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・各自主防犯団体による意見交換会(1回) ・ダミー防犯カメラの貸出(5台) ・不法投棄防止看板の修繕(15基) ・防犯活動研修会の開催(1回) 		
3カ年の 予定総事業費	500千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯団体の防犯活動が強化と活性化が図られる。 ・各自治会等で防犯カメラの設置に向けた協議が進む。 ・地域の防犯力が強化される。 		

特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	地域防災ひとづくり		
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み	<input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み	
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち	<input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input checked="" type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち	<input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	平成31年 4月 1日 ~ 令和4年 3月31日		
担当所属	北区地域総務課		
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	防災士は、災害時に共助のリーダーを担う重要な存在であり、新潟市としても、平成26年度からの養成講座に始まり、応急手当の指導者向け講習会や防災講話用の資料作成など、フォローアップ研修も行っている。 しかし、依然として地域の防災訓練で指導等を行う防災士は一部に限られており、新潟市が防災士に求める役割と、防災士が果たせる役割の間には乖離がある。		
目的 (何のために)	防災士としての自覚を促し、さらに各地の防災訓練での指導経験を積むことにより、防災士と地域の両者が防災士という立場の認識を共有する。		
手段 (どのようなやり方で)	防災士が地域で活躍するために必要な知識や技術の向上と併せ、防災訓練の企画運営、訓練種目の指導などの実習を通して、訓練現場での指導技術の向上を図るとともに、防災訓練に必要な指導の手引きを作成する。また、防災士による河川別洪水ハザードマップを作成する。		
期待される事業効果 (目的に対して)	災害時における共助のリーダーとして、また、発災時のリーダーとして期待できるとともに、日常の防災訓練における指導者として、地域の防災力向上の一翼を担う。		

特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和元年度(1年目)	令和2年度(2年目)	令和3年度(3年目)
事業費	738,600円(決算額)	600,000円(予算額)	1,200,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	スキルアップ講習等委託料 年間5回の防災士への講習の企画運営を実施 防災士による指導実践演習 年間12回実施 防災チラシ印刷 『知っておこう 避難の目的』 30,000枚 『避難所開設基準』 30,000枚	スキルアップ講習等委託料 年間で3回の講習の企画運営 防災訓練指導実習 年間で1~2回の防災訓練の企画運営サポート 防災訓練手引き資料作成 講習会テーマについて訓練手引き資料を作成	スキルアップ講習等委託料 年間で2回の講習の企画運営 防災訓練指導実習 年間で2~4回の防災訓練の企画運営サポート 防災訓練手引き資料作成 講習会テーマについて訓練手引き資料を作成 河川別洪水ハザードマップ印刷 防災士の助言を加えたマップを作成
3カ年の 予定総事業費	2,539 千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	事業終了後も、防災士の定期的なスキルの向上とノウハウ蓄積のため2年に1度程度の指導技術講習会実施を検討。		

特色ある区づくり予算事業計画書

事業名	めざせ防災力向上！		
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み	<input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区自治協議会が提案する、地域課題の解決に必要となる新たな事業や既存の取組みと連携を図る事業	
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち	<input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input checked="" type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち	<input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> その他(区自治協議会提案事業)
事業期間	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日		
関連部会	地域づくり部会		
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	いつ起こるか分からない地震や津波、気象現象の変化による大雨や洪水、土砂災害、台風などの自然災害は全国各地で発生し、大きな被害をもたらしている。災害から命を守るために、地域住民の防災知識の取得と意識の向上が求められている。		
目的 (何のために)	万が一の災害から命を守るために、防災における正しい知識を取得し、日頃から災害に備える。また、コロナ禍における避難や避難所運営について考える。		
手段 (どのようなやり方で)	地域全体の防災力向上のためには、地域住民の更なる意識向上や知識の取得が重要であるため、防災の基礎知識やコロナ禍における防災などを学ぶ講座やイベントを企画し実施する。また、幅広い世代に関心を持ってもらえるような工夫を施す。		
期待される事業効果 (目的に対して)	地域全体で防災に関する知識を取得し意識の向上を図ることで、地域特性を配慮した避難行動や避難所運営を行うことが期待される。		
令和3年度 予定額	900,000円		

特色ある区づくり予算事業計画書

事業名	「あったか言葉」っていいね		
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み	<input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区自治協議会が提案する、地域課題の解決に必要となる新たな事業や既存の取組みと連携を図る事業	
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち	<input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち	<input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> その他(区自治協議会提案事業)
事業期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日		
関連部会	福祉教育部会		
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<p>身近な人と人の交流や声をかけあう機会が乏しくなり人間関係が希薄になる中、子育て世代をはじめ、ちょっとした悩みや困りごとを抱え込んでしまう孤立化が懸念される。子どもから大人まで誰もがあたたかい言葉をかけあい、支えあえる関係性を築くことはとても大切である。</p> <p>互いに思いやり、つながり、支え合える関係づくり、地域づくりが必要とされている。</p>		
目的 (何のために)	<p>誰かにかけていたい言葉、自分がかけてられたい言葉について考える機会を幅広い世代に提供することで、いじめや虐待の防止、引きこもり対策につなげるとともに、思いやり、支え合える関係づくり、地域づくりの大切さを広める。</p>		
手段 (どのようなやり方で)	<p>家族へ、友だちへ、恋人へ、地域の人へなど様々な対象に対する、思いやりのある言葉、「あったか言葉」が北区に広がっていくよう、幅広い世代に募集する。また、その言葉をSNSや区役所だより、公共施設での掲示など、様々な方法で発信、啓発していく。</p>		
期待される事業効果 (目的に対して)	<p>互いに思いやり、つながり、支え合える関係づくり、地域づくりの一助となることが期待される。</p>		
令和3年度 予定額	900,000円		

特色ある区づくり予算事業計画書

事業名	北区 自然の魅力発信事業		
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み	<input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区自治協議会が提案する、地域課題の解決に必要となる新たな事業や既存の取組みとの連携を図る事業	
区ビジョン	<input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち	<input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち	<input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> その他(区自治協議会提案事業)
事業期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日		
関連部会	自然文化部会		
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	北区には福島潟、十二潟、内沼潟、ひょうたん池といった水辺環境をはじめ、桜や菜の花、野鳥など自然の魅力が豊富であるとともに、それらに関する取り組みが盛んにおこなわれている。その一方で、それらの魅力や取り組みが区内外の人に十分に伝わっていない。		
目的 (何のために)	・潟や桜などの自然の魅力を見つめ直すとともに、区内外へ広く発信することで愛着の醸成を図る。		
手段 (どのようなやり方で)	<ul style="list-style-type: none"> ・福島潟PR動画などを制作する。 ・北区の自然の魅力を見つめ直し、それらをまとめたパンフレットや写真入りカレンダーを制作・配布する。 		
期待される事業効果 (目的に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺環境をはじめとした自然資源への愛着が醸成されることで、自然環境保護への意識が向上する。 ・地域の宝を再認識し愛着が醸成されることで、北区の”ファン”を増やすことにつながる。 		
令和3年度 予定額	1,000,000円		